
第十 調査・研究活動

- 1 調査・研究活動
- 2 保健所内研究成果報告会

第十 調査・研究活動

1 調査・研究活動

年月日	学会名等	内 容	発表者
令和5年10月	全国食品衛生監視員研修会	HACCP に沿った衛生管理の制度化から2年が経過したが、本来の目的を理解していない事業所では記録することのみが目的となっており、見直しが行われていない。本市では適切な運用を支援する中で、HACCPの定着と衛生水準の継続的な向上を図ることを目的に、見直しを促す効果的な助言の方法を検討した。	生活衛生課 食品衛生係 大森佳美
令和5年8月	岡山県獣医公衆衛生学会	倉敷市では収容犬の譲渡事業を実施しているが、収容犬の中には寄生虫症に罹患しているものがある。収容犬の譲渡希望者に対して、客観的な数値による寄生虫症の情報提供できれば、より説得力のある注意喚起ができることから、収容犬の寄生虫症罹患判明頭数を収容した地区ごとに報告した。	生活衛生課 動物管理係 金堂恵美子

2 保健所内研究成果報告会

保健衛生業務に従事している職員の知識や技術の向上を目指し研究発表の場を設けるとともに、研修に参加することで、他の業務についても幅広い知識や視野を養う。

- ① 日時及び場所
令和6年2月2日(金) 13時30分～17時00分 倉敷市保健所 302 会議室
- ② 発表者
9人(倉敷市保健所、児島保健福祉センター、水島保健福祉センター)
- ③ 参加者
延べ68人(倉敷市保健所、児島・玉島・水島各保健福祉センターほか)
- ④ 発表者・発表要旨

第1部 母子保健

研究代表者 (発表者)	テーマ	要 旨
倉敷保健推進室 中田 果菜子 (大角 晴美)	子育て支援施設・団体に早期につながるための効果的アプローチを探る	倉敷地区の幼児健診対象時の保護者を対象に調査を行い、子育て支援施設・団体を早期に利用するための障壁や効果的なアプローチを明らかにし、今後取り組む対策について検討した。
児島保健推進室 山崎 友美	岡山県倉敷市の幼児を持つ親の家族エンパワメントの実態とその関連要因-父親・母親別による調査-	倉敷市在住の幼児を持つ親の家族エンパワメントの実態と関連要因について、父親・母親別の特徴及び地域との繋がり、保健師の関わりについて明らかにし、父親を含めた家族全体への効果的な子育て支援のあり方を検討した。

第十 調査・研究活動

水島保健推進室 森永 寛子	おやこ健康手帳交付時の妊婦面接の在り方を検討する	妊娠届出時アンケートの回答及び妊婦面接で得た情報と医療機関からの連絡内容を照合し分析することで、妊婦面接の改善に必要なことを検証した。
------------------	--------------------------	---

第2部 微生物検査・理化学検査

研究代表者 (発表者)	テーマ	要旨
衛生検査課 微生物検査係 光信 智恵	レジオネラ属菌検査におけるろ過濃縮法の回収率向上の検討	国の通知を受け、レジオネラ属菌の検査方法を、「冷却遠心濃縮法」から「ろ過濃縮法」に切り替えたが、添加回収試験によりレジオネラ属菌の回収率は 10%程度と低かったことから、回収率の向上を目的に検討した。
衛生検査課 理化学検査係 東 義慶	グリホサート及びグルホシネートの検査方法の確立及びモニタリング調査	小麦の輸入時に行われる残留農薬検査の対象となっているグリホサート及びグルホシネートについての検査方法の検討及び、小麦粉や小麦粉を原料とする食品のモニタリング調査を実施しその結果を報告した。

第3部 感染症・精神保健

研究代表者 (発表者)	テーマ	要旨
保健課感染症係 村田 裕美子	高齢者施設でクラスター発生を繰り返す要因の分析と今後の対策の検討	新型コロナウイルス感染症のクラスター発生を繰り返す施設と繰り返さない施設の間での感染症対策の違いを比較し、クラスター発生の要因を探るとともに、その発生の予防や感染症対策指導及び啓発方法について検討した。
保健課精神保健係 白神 佳寸美 (高島 春花)	大学生を対象としたゲートキーパー養成研修効果の検証	大学生を対象としたゲートキーパー養成研修における意識・行動の変化を調査分析し、GK研修の効果が研修4か月後も持続しているかどうかを明らかにした。今後の研修内容の改善点について検討した。

※ 研究代表者と当日発表者が違う場合のみ、発表者を記載